

板金塗装用語集

～修理工場で使われる専門用語をわかりやすく解説～

収録用語数

35語

年間修理台数

600台+

職人経験

42年

監修：車の修理.com 板金塗装専門店

一級塗装技能士（厚生労働省認定）／二級整備士

九州運輸局認証工場（1-2887）

〒812-0033 福岡県福岡市博多区大博町7-10

TEL: 0120-111-016

目次

1. 基本用語
2. 板金の工程
3. 塗装の工程
4. 塗装の種類
5. トラブル用語
6. 最新技術
7. 見積もり関連

基本用語

■ 板金塗装（ばんきんとそう）

車のボディにできた凹みやキズを、形を直して（板金）、色を塗って（塗装）元通りにする作業のこと。「板金」と「塗装」は別の作業ですが、セットで行うことがほとんど。

【職人の補足】お客様から「板金だけお願いします」と言われることがあります、形を直したら塗装しないと見た目が悪いですし、錆びの原因にもなります。基本的にセットと考えてください。

■ 板金（ばんきん）

車のボディ（金属の板）の凹みや歪みを、叩いたり引っ張ったりして元の形に戻す作業のこと。

【職人の補足】ただ叩けばいいわけじゃないんです。鉄板は叩くと伸びる性質がある。「鉄板と会話する」なんて言いますが、本当にそんな感覚です。

■ 塗装（とそう）

車のボディに色を塗って、元の見た目に戻す作業のこと。単に色を塗るだけでなく、何層にも塗り重ねて、最後にクリア（透明な保護層）で仕上げます。

■ デントリペア

塗装を剥がさずに、裏側から専用工具で押し出して凹みを直す方法。小さな凹みに有効で、塗装しないので費用を抑えられます。

【職人の補足】塗装が剥げていない小さな凹みならデントリペアが安くて早い。ただし、エッジ（角）がある凹みや、塗装にヒビが入っている場合は板金塗装が必要です。

■ フレーム修正（ふれーむしゅうせい）

車の「骨格」にあたる部分が歪んでしまった場合に、専用の機械（フレーム修正機）を使ってミリ単位で元の形に戻す作業。

【職人の補足】フレームが歪んだまま乗ると、まっすぐ走らなかったり、タイヤが偏って減ったりします。安全に直結する重要な作業なので、認証工場でないとできない場合もあります。

板金の工程

■ 外板板金（がいばんばんきん）

ドア、フェンダー、ボンネットなど、外から見えるパネルの凹みを直す作業。ハンマーで叩いたり、専用の機械で引っ張り出したりします。

■ パネル交換

損傷がひどくて板金では直せない場合に、パネル（ドアやフェンダーなど）を丸ごと新しいものに交換する方法。

【職人の補足】ディーラーは「交換」と言うことが多いですが、うちでは「板金で直せないか」をまず検討します。直せるなら板金の方が安いし、修復歴もつきにくい。

■ パテ

板金で大まかな形を直した後、細かい凹凸を埋めるために塗る粘土のような材料。乾いたら削って、ボディの曲線に合わせます。

【職人の補足】「パテを厚く盛って形を作る」工場もありますが、それは邪道。厚すぎると後で剥がれる原因になります。「パテは薄く」が鉄則です。

■ 研磨（けんま）

紙ヤスリや電動ヤスリでパテや塗装面を削って、滑らかにする作業。塗装前の下地作りと、塗装後の仕上げの両方で行います。

【職人の補足】研磨の良し悪しで仕上がりが決まると言っても過言ではありません。地味な作業ですが、一番時間をかける部分です。

■ 溶接（ようせつ）

金属同士を熱で溶かしてくっつける作業。パネル交換や、骨格部分の修理で必要になります。

【職人の補足】最近の車は高張力鋼板（ハイテン）を使っているので、溶接の温度管理が重要。熱を入れすぎると強度が落ちてしまう。

塗装の工程

■ 脱脂（だっし）

塗装前に、ボディ表面の油分や汚れを落とす作業。油分が残っていると塗装が密着せず、剥がれの原因になります。

■ サフェーサー

塗装の「下地」となる塗料。パテの上に塗ることで、色の密着性を高め、防錆効果もあります。「サフ」と略されることも。

【職人の補足】サフェーサーを省略すると、半年～1年で塗装が浮いてきます。激安工場でよくあるトラブルの原因はここ。見えない部分ですが、絶対に省いてはいけない工程です。

■ 調色（ちょうしょく）

車の色を合わせるために、塗料を調合する作業。同じカラーパン号でも、年式や日焼け具合で色が違うので、実際の車を見ながら微調整します。

【職人の補足】これが塗装で一番難しい。メーカーのデータ通りに作っても合わないことがほとんど。42年やっていても、パールカラーの調色は毎回緊張しますね。

■ クリアー塗装

色を塗った上から、透明な塗料を塗る作業。艶を出し、色を紫外線や汚れから保護する役割があります。

【職人の補足】クリアーラッカーの厚みや艶の出し方で、仕上がりの印象が大きく変わります。「なんか違う」と感じるのは、だいたいクリアーラッカーの問題。

■ ぼかし塗装

修理した部分と元の塗装の境目が目立たないように、徐々に色を薄くしていく塗装技法。

【職人の補足】「どこを直したかわからない」と言われる仕上がりは、このぼかし塗装の技術にかかっています。経験がないとできない、職人技の見せどころです。

塗装の種類

■ ソリッド

キラキラ感のない単色の塗装。白、黒、赤などが代表的。調色が比較的しやすい。

■ メタリック

アルミ粉が入っていて、キラキラ光る塗装。ソリッドより調色が難しい。シルバーが代表的。

■ パール

パール粉（雲母）が入っていて、角度によって色が変わって見える塗装。「パールホワイト」が有名。

【職人の補足】パールは厄介です。粒の量、向き、光の当たり方…全部で色が変わる。42年やっていても、パールの調色だけは「慣れた」とは言えません。

■ 水性塗料

シンナーではなく水を溶剤として使う、環境に優しい塗料。新車の塗装ではほぼ主流になっています。

【職人の補足】環境規制が厳しくなって、新車はほとんど水性塗料になりました。乾燥に時間がかかるのが難点。専用の乾燥設備が必要なので、対応していない工場も多い。

トラブル用語

■ 色ムラ

塗装した部分と元の部分で、色が違って見える状態。調色の失敗や、塗り方の問題で起こります。

【職人の補足】色ムラは、技術のない工場でよく起きます。一級塗装技能士が調色していれば、まず出ません。

■ ゆず肌（オレンジピール）

塗装面がオレンジの皮のように凹凸になっている状態。塗料の粘度、スプレーの距離、乾燥速度などが原因で起きます。

【職人の補足】実は、新車でも多少のゆず肌はあります。問題は「元の状態と合っているか」。元のゆず肌に合わせるのも技術のうちです。

■ チリ合わせ

パネル同士の隙間（チリ）を均一に調整する作業。チリがズレていると、見た目が悪いだけでなく、雨漏りや風切り音の原因にも。

【職人の補足】安い工場でよくあるトラブルが、このチリのズレ。パネル交換後にちゃんと調整しないと、ドアの開閉がおかしくなったりします。

■ 修復歴

車の「骨格部分」を修正・交換した履歴。売却時の査定に影響します。外板パネル（ドア、フェンダーなど）の板金塗装は修復歴には含まれません。

最新技術

■ ADAS（エーダス）

Advanced Driver Assistance System（先進運転支援システム）の略。自動ブレーキ、車線逸脱警報などの総称。

【職人の補足】板金塗装後にキャリブレーション（校正）が必要になることも。専用の機材がないと対応できませんが、うちでは対応可能です。

■ キャリブレーション

ADASのカメラやセンサーの位置・角度を正しく調整する作業。「校正」「エーミング」とも呼ばれます。

【職人の補足】専用のターゲット（的）を車の前に置いて、カメラに認識させて調整します。「見た目だけキレイ」で終わらせる工場もあるので要注意。

■ 高張力鋼板（ハイテン）

普通の鉄板より強度が高い、薄くて軽い特殊な鋼板。燃費向上と安全性のために、最近の車のほとんどに使われています。

【職人の補足】昔の車の鉄板は叩けば伸びたけど、ハイテンは硬くて伸びにくい。溶接の温度管理がシビアになって、昔より繊細な作業が必要になりました。

■ セルフリストアリングコート

小さな傷が自己修復する特殊なクリア一塗装。トヨタやレクサスで採用。熱を加えると傷が目立たなくなる性質があります。

【職人の補足】補修塗装では専用のクリアを使わないと性能が復元できません。メーカーごとに対応が違うので、事前に確認が必要です。

■ アルミボディ

鉄ではなくアルミニウムで作られたボディ。軽量で鋳びにくいが、修理には特殊な技術と設備が必要。高級車や輸入車に多い。

【職人の補足】アルミは鉄と性質が全然違う。「アルミだから」と断る工場も多いですが、うちでは輸入車ディーラーからの依頼も長年受けているので対応可能です。

見積もり関連

■ 指数（しすう）

修理にかかる作業時間の目安。自研センターが車種ごとに作成。「指数工賃単価」で工賃が計算されます。

×

【職人の補足】指数はあくまで「標準的な作業時間」。実際には車の状態や損傷の程度で変わります。

■ 工賃（こうちん）

作業にかかる人件費。部品代とは別に計算されます。工場によって工賃単価（1時間あたりの金額）が異なります。

■ 部品代

交換する部品の費用。新品部品、リビルト部品（再生品）、中古部品で価格が大きく変わります。

【職人の補足】「新品じゃないと不安」という方もいますが、中古部品でも状態が良ければ問題ありません。

■ 認証工場

国（運輸局）の基準を満たした設備・人員・作業環境を持つ工場。認証番号が公開されていて、誰でも確認できます。

【職人の補足】認証を受けていない工場が悪いわけではありませんが、「国が認めた基準」を満たしているかどうかは、一つの判断材料になります。

お問い合わせ

用語がわからなくても大丈夫です。 修理の説明は、専門用語を使わずにわかりやすくお伝えします。
「なぜこの作業が必要なのか」 「なぜこの金額なのか」、 納得いくまでご説明します。

車の修理.com 板金塗装専門店

〒812-0033 福岡県福岡市博多区大博町7-10

フリーダイヤル: 0120-111-016

営業時間: 9:00~18:00 (日曜・祝日定休)

LINE受付: 24時間対応

<https://www.kurumanosyu-ri.com/fukuoka/>